

ザ・もっともきた 最北船と 141号

災害に備えて 関係機関と防災訓練を実施

稚内海上保安部では、9月1日の「防災の日」前後に、関係機関と連携した防災訓練を実施した。

8月は、稚内港において道北地区沿岸海域排出油等防除協議会及び石油連盟との合同油防除訓練を実施し、9月は礼文町において北海道警察、地元自治体等と連携した離島への物資、人員輸送や、離島からの被災者救出訓練を実施した。

特に礼文町での訓練では町民の方々にも参加していただいたことにより、町民の防災意識の高揚にも繋がる訓練となった。

このように災害に備え、日頃から地元自治体や関係機関と相互に連携した各種訓練、体制の整備を行っている。



礼文島で実施された防災訓練
（写真奥に見えるのが巡視船れぶん）



平成27年8月5日、昭和12年に初点灯した礼文島で最も歴史のある香深灯台が長い歴史に幕を閉じた。

香深灯台いつまでも 記念額を礼文小学校へ寄贈



寄贈された記念額と3D海図を掲げ記念撮影

平成2年に3代目香深灯台を改修した当時、隣接地にある礼文小学校に同灯台の記念額（銘板）の揮毫を依頼したところ、当時6年生の高橋美奈さんの書を基にした記念額が完成し灯台に取り付けられた経緯があり取り外された記念額を、礼文小学校へ寄贈することとなった。

9月15日礼文小学校で贈呈式が行われ、全校生徒42名の前で及川稚内海上保安部長より今野巨礼文小学校長へ記念額とともに3D海底地形図が手渡された。

今野校長先生からは「礼文小学校の卒業生として、小さい頃から香深灯台を見て育ったので無くなることは寂しいです。」と感慨深い言葉があった。

80年近く島の沖合いはもとより、児童達を照らし見守っていた香深灯台を見ることはできなくなっていたが、記念額を見て語り継いでくれればと願っている。

稚内港で活躍する船 舶大集合

8月1日（土）稚内港海の月間実行委員会では「稚内みなと南極まつり」の開催とタイアップし稚内港を基地として活躍する官庁船4隻を稚内港北ふ頭に集結させて一般公開を実施した。

稚内海上保安部からは巡視船もとらが参加し船内の一般公開のほかクイズラリー、制服試着コーナー、うみまるとの記念撮影コーナーを設ける等当庁業務のPR活動も実施した。

当日、来訪者数は299人にもなりましたが、訪れた市民の中には海上保安官の仕事について積極的に質問する小学生などもおり未来の海上保安官となってくれることを願うばかりです。



巡視船もとらの前でうみまると記念撮影

愛します・守ります・最北の海
稚内海上保安部

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118)

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

